

# 郷土の期待を担って 3選手力走

## 第8回都道府県対抗女子駅伝

第八回全国都道府県対抗女子駅伝が、一月十四日に京都市西京極陸上競技場を発着点とする九区間、四二・一九五キロで行われました。高知県勢は昨年より一つ順位を上げた四十二位にとどまりましたが、南国市から三

選手が出場、沿道の声援を受けて力走しました。  
出場したのは、内村嘉代さん（福船・市職員）、戸梶志保さん（高知市・高知農業高校）、浜口美穂さん（篠原・香長中）。それぞれ四区、七区、八区で区間四十三位、三十八位、四十位と健闘しました。



4区から5区へたすきを渡す



内村さん

内村さんの話―最後に坂のあるコースだったので、体調を考えたスタミナを温存する走りになり、ふだんのように最初から飛ばせなかった。あまりいいタイムではなかったが、走らせていただけでよかった。

戸梶さんの話―絶対走りたいたいと思っていたので、前の晩メンバーに決まったときはうれしかった。駅伝は初めてだったが、思ったより緊張せずに走れた。機会があれば来年もぜひ走りた

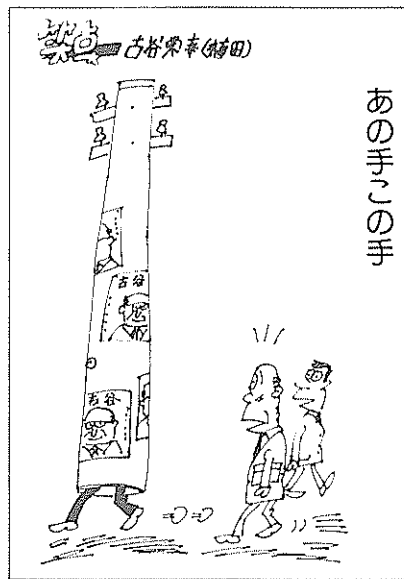


戸梶さん

い。

浜口さんの話―年末年始の強化合宿は苦しかったが、いい勉強になった。坂のあるコースだったが何とかが走れた。来年も選手になれ

た。坂のあるコースだったが何とかが走れた。来年も選手になれ



あの手この手



浜口さん

るように一生懸命練習していきたいと思う。

### 南国歌壇

春疾しと兆せるものは夜をこめて  
ふりにし雨の今朝あたたかし  
大埔 中田憲秀

老衰の兄に輸血や点滴と  
大往生は死語となりたり  
篠原 山本茂

聞きなれぬアゼルバイジャンと  
いう国に 自由求めるドラ鳴り  
わたり  
領石 唐岩勇

長かりしとも忽ちに過ぎしとも  
嫁ぎきて五十年の歳月満つ  
岡豊町 葛目治子

ひとり来て茶房に憩うひと時を  
霧流れきて昏みゆく里  
岡豊町 武樋信子

鹿らかに登る初日に今年こそ  
自分史完成の契い新たに  
大埔 島光則

### 南国柳壇

果てしなき可能性秘め二十歳か  
な 前浜 大原正明

達者ぞと幼友の年賀のなつかし  
き 十市 沢村鶴一

ぐれた子の誰が生んだと親をせ  
め 立田 北村幸江

猫丸む日溜り恋し冬の風  
里改田 田所千枝

### 南国俳壇

柚子湯して今日といふ日を過去とする北岡高子（岩村句会）  
咳き込めばどつとおしよす草紅葉 山岡みよ（ ）  
枇杷の花こぼれ鶏鳴ふと音痴 西本かよ子（ ）  
園街跡巡る小溝に岸を摘む 和泉まさ（梵鐘句会）  
比江山をはるか背にして若菜摘む 林 広裕（ ）  
近道をとり追ひつきめ若菜摘 吉川 節（ ）